

そうだったのか! 通信

2016/10

Vol.1 プレーパークで遊ぶ 発行: 石神井・冒険遊びの会

子どもは毎日いろんなことを吸収していて、
昨日できなかったことが今日できるようになったり、
成長がめざましいですね。

幼児期は体と脳がもっとも発達する時期。
いろんな刺激を受けて成長してほしい。

それには、外で体を動かして遊ぶのが一番です。
外で遊ぶと室内より刺激が多く、
習い事よりも自主的な遊びの方が自分で考えたり、
体のさまざまな感覚を使います。

そして、「楽しい」と感じる時が一番、脳が育つ時。
子どもがよろこんで遊ぶのは、
神経系を成長させ、脳を発達させます。

だから、
子どもの好きなように思いきり遊ばせることが
その子の発達を促す一番の方法なのです。

子どもは自分自身の発達に繋がることを
本能で知っていて、
自然にやっているのです。

プレーパークでは、楽しく遊びながらいろんな感覚をいっぱい使う。
だから子どもの発達にすごくいいのです。



シブジャーレクパ星人
ソーダッダノカ君

